

県立大生が消防応援隊

3年連続、県認定

県立大(総社市窪木)の学生が消防応援隊を結成、消防や防災の知識を学ぶ技術も習得する2017年度の公認サークルとして県の認定を受けた。(古川和宏)

消防応援隊は3年連続認定。17年度の隊員は、16年度からの継続メンバーの24年生10人。17年度は、救急救命講習や消防団員研修の受講のほか、学内や地域の防災訓練に参加する。現在1人が防災士の資格を取得しており、ほかメンバーも取得を目指すという。同日、認定式があり、善勝剛志県消防保安課長が「地域防災の担い手となってほしい」とあいさつし、代表の情報

工学部3年深津直也さん確保につなげようと、15(津山市北園町)の県内2団体を認定していた。年度から県内の大学消防応援隊を公認サークルと認定。制服を貸与するほか、訓練用の自動体2万8162人。このうち学生数の消防団員数は63人と増えている。総社市内の消防団の活動を支援する消防団員の減少する消防団員の若い世代に知ってもら

講習受講や訓練参加



青い制服姿で消防応援隊の認定式に臨む県立大生

山陽新聞社提供